

当社社員らによる論文が公開

蛍光染料の濃度低下に寄与する地下水中微生物を特定

当社社員らによる論文が2024年3月7日、Cell Press社（米国）が運営する査読付きオープンアクセスジャーナル「Heliyon」で公開されました。

蛍光染料（特に、ウラニン、ナフチオン酸ナトリウム）の濃度低下の原因が地下水中の微生物であることを示した論文「蛍光染料の濃度低下メカニズムの解明と濃度低下に対する対処方法の提案」（地下水学会誌 2023年65巻3号掲載）に続く研究成果で、濃度低下が生じやすい条件の評価、ウラニンの濃度低下に寄与する微生物の特定を行ったものです。蛍光染料の濃度低下に実際に寄与する微生物を特定したという点が本研究の成果として特記されます。

論文情報

■ タイトル

[Identification of groundwater microbes that decrease the concentration of the conservative tracer uranine](#)

（邦題：蛍光染料の濃度低下に寄与する地下水中微生物を特定）

論文は、リンク先 Heliyon にて閲覧できます。

■ 著者

責任著者：

杉山歩（当社・原子力バックエンド事業部 ※研究時は一般財団法人電力中央研究所に在籍）

共著者：

中田 弘太郎、平野 伸一、長谷川 琢磨（いずれも、電力中央研究所）

以上